

平成 28 年度・館内サイン及びポスター・チラシ等製作の報告

永 原 達 哉

概 要

平成 28 年度、サイン委員会で実施した各種ポスター、館内での表示サイン、また各種プログラムのポスターや、ショップ関連商品のデザインなどの報告を行う。

1. はじめに

ここでは、大阪市立科学館で実施される各事業、業務担当者より依頼を受けてそれらのポスター、チラシなどのデザインを行い、またサイン委員会が受ける館内サインの製作について以下のとおり項目ごとに報告する。

2. 館内サイン

2-1. サイン委員会

サイン委員会メンバーは、寺西総務課長、中井代理(広報)、石坂代理(企画)、岳川代理(サービス)、そして筆者である。

2-2. 製作物

1. 各案内サイン

展示場 1 階出口付近にあるエレベーター2基のドア。向かって右側は通過するので開かない。ドアにも止まらないことを表記しているのが、間違い来館者が多い。また一般的に展示場へは地下1階から入場してもらうので、図1-1に示した方々を優先するサインを製作した。完成したものが図1-2である。



1-1. 展示場 1 階 E V 前 (デザイン)



1-2. 展示場 1 階 E V 前 (設置後)



1-3. チケットカウンター前 (デザイン)



1-4. チケットカウンター前 (デザイン)

*企画広報グループ(kikaku@sci-museum.jp)

上図1-3.と1-4. は地下1階のチケットカウンター前用のサインデザインである。銀行や空港など、利用客が列を作る場所に良く見られるサインボードを採用した。



1-5. チケットカウンター前(設置後)



1-6. 展示場改札(設置後)

また上図1-6. のとおり、地下1階展示場改札の案内用としてもチケットカウンター前のサインと同じ仕様のものを採用した。

現場の意見としては、サインボードの移動に少々難があるものの、来館者へのアイキャッチは非常に良く、戸惑う人が少なくなったという。

下図1-7～-8. は1階正面玄関付近のデザインである。正面玄関から地下1階に下りるには階段がメインになる。エレベーターは展示場にあるエレベーター(図1-2)まで行かないといけない。来館者にとって、案内員などの誘導がないとわかりづらい。案内員が他に手を取られていたりした場合の案内サインである。



1-7. 1階正面玄関付近(デザイン)

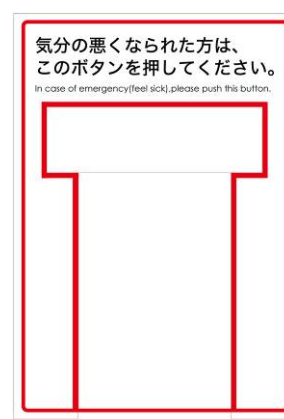


1-8. 1階正面玄関付近(デザイン)



1-9. 1-7と-8の設置後

展示場のトイレには、非常用ボタンと洗浄ボタンが隣接しているところがあるために、利用者が間違えて非常用ボタンを押すことが多かった。よって下図の通り案内サイン(シール)を設置した。



1-10. トイレ内のサイン



1-11. トイレ内のサイン(設置後)

プラネタリウム・ホール近辺のサインとして、下図1-11、とー12を製作した。



1-12. ホール近辺サイン



1-13. ホール近辺サイン

特に上図1-13. は、ホール内に入る前に観覧者が整列する“ホワイエ”という場所に設置した。観覧者への利用案内を理解してもらうことでトラブル回避を考えた内容である。



1-13. ホール近辺サイン(設置後)

3. ポスター、チラシ等

担当学芸員の意向を聴取し、また素材が整っていればそれらを基にデザイン案を2種類程度作成する。原案が了承された後、用途別に作り込みに入る。

1. サイエンスショー

サイエンスショーのポスターは縦バージョンとしてB2サイズ、横バージョンの基本は展示場エレベーター内のA3サイズを基本に、サイエンスショー・コーナー前、正面玄関ホワイトボード用の変形サイズをはじめ、広報用にいくつかの仕様に基づいて作成する。

・花火の化学、大実験！

担当：岳川学芸員

毎夏の恒例となっている花火のサイエンスショーである。炎色反応を見る実験のワンシーンをメインにしたポスターである。



1-1. 花火の化学、大実験！(A3横)



1-2. 花火の化学、大実験！(B2縦)

撮影用に岳川学芸員に炎色反応の実験を何度か行ってみたが、大きな炎が出なかった。そこで、演出として下図1-3をフォトショップを使って加工した。



1-3. 花火の化学、大実験！（元画像）

図1-3. の炎の周囲から切り取ったものを拡大させて上から貼り付けて元画像となじませると、1-1. -2. のようなポスターが完成する。

・ふしぎな形にだまされるな！

担当：長谷川学芸員

目の錯覚を利用したサイエンスショーである。下図1-4. と-5. 内の“無限階段”と”形“というタイトルは長谷川学芸員が製作。形は全体のタイトルデザインに合わせるために筆者がデザインを加えた。



1-4. ふしぎな形にだまされるな！（A3横）



1-5. ふしぎな形にだまされるな！（B2縦）



1-6. ふしぎな形にだまされるな！（素材）



図1-4. と-5. に長谷川学芸員がたくさんいるが、実際には別撮りでそれぞれのポーズをした長谷川学芸員を撮影、それを上手1-6のようにフォトショップで切り取る(図1-4. -5. 内白枠で囲った長谷川学芸員)。そしてそれらを無限階段にあたかも上っているかのような加工を施した。

・静電気なんてこわくない！？

担当：大倉学芸員



1-7. 静電気なんてこわくない！？（A3横）



1-8. 静電気なんてこわくない！？（B2縦）

上図1-7. -8. の女性は企画の山路氏である。髪が長いので静電気によって髪が逆立つ様子が非常に分かりやすいのでモデルになってもらった。

2. プラネタリウム

プラネタリウムは基本地下1階アトリウムの壁面に設置している大型シート用にデザインする。プラネタリウムのポスターデザインの場合、メイン素材が決まっています。それを生かしたデザインを行う。よってタイトルデザインを凝ってデザインすることが多い。完成後、これらを基に広報用に加工する。

・オリオン座の秘密

担当: 西野学芸員

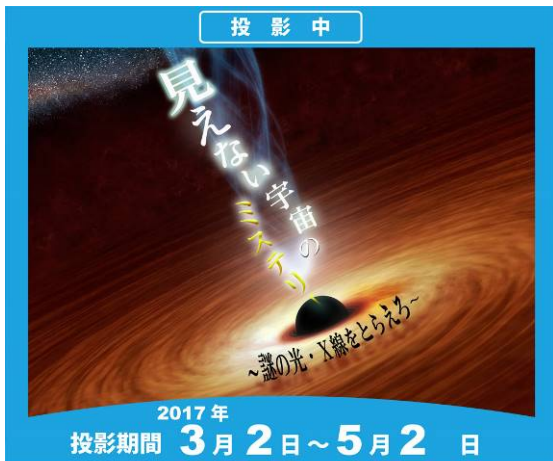
タイトルの“秘密”という漢字にある3つの点をオリオン座にもある3つの星と連動させた。



・見えない宇宙のミステリー～謎の光・X線をとらえろ～

担当: 江越学芸員

江越学芸員からメイン画像を見せてもらったその時にアイデアが浮かんだ。いわゆる“すぐに降りてきた”という感じだった。あとはいかに“ミステリー”っぽく見せるか、という部分を考えて。



3. スペシャルナイト

大阪市立科学館特別企画として実施するイベントのひとつが“スペシャルナイト”である。

●アルマ望遠鏡でさぐるオリオン大星雲

担当学芸員: 西野藍子

西野学芸員が使ってほしいという画像を見た時に下図のようなデザイン案が浮かんできた。メインの画像は黒いシルエットに写るいくつものアルマ望遠鏡が地平線にある。その上の空にオリオン座が見えている。いわゆる“画力”が非常に強い画像である。デザインとしてはアルマ望遠鏡単体を切り抜いて拡大したものをメイン画像にしてみました。



3-1. アルマ望遠鏡でさぐるオリオン大星雲 (A4表)



3-2. アルマ望遠鏡でさぐるオリオン大星雲 (A4裏)



3-3. アルマ望遠鏡でさぐるオリオン大星雲 (B2)

上図3-3-1~3. のようにチラシ、ポスターの情報部分のデザインはシンプルにおさえた。

4. 企画展と関連イベント

1. 花火×化学

担当学芸員: 岳川有紀子

サイエンスショーなどとも連動して実施された夏の風物詩的イベントである。花火の豪快さと優美さ、そしてそれぞれの業種が良くわかる服装が目立つデザインにした。



1-1. 花火×化学(A4表)



1-2. 花火×化学(A4裏)

2. プラスチック×アートワークショップ

担当学芸員: 岳川有紀子

芸術家とのコラボレーション的イベント。ペットボトルに入った水に浮くプラスチックの花がきれいな画像をメインにした。背景をぼかして、メインが際立つように加工した。



2-1. 展示場用



2-2. 展示場用

上図2-2. の中心にある図もプラスチックの作品である。

3. じしゃくであそぼう

担当学芸員：岳川有紀子

磁石で遊ぶ子どもの画像がメインだが、右手でつかんでいる磁石をタイトルであるじしゃくの“じ”を磁石見立てでデザインした。



3-1. じしゃくであそぼう(B2)

4. 化学と宮沢賢治

担当学芸員：小野昌弘

作家、宮沢賢治生誕120年。化学と縁が深かった同氏に関しての企画イベントである。広報物メインとなったチラシ、ポスター(下図4-2-1~4.)。小野学芸員から預かった宮沢賢治の写真の画力が凄いインパクトがあった。この画像をあらゆる箇所使うことにした。



4-1. 化学と宮沢賢治(A4表)



4-2. 化学と宮沢賢治(A4裏)



4-3. 化学と宮沢賢治(B2. 左: イベント用、右: 展示場用)



4-4. 化学と宮沢賢治(HP用)



4-5. 化学と宮沢賢治 (展示パネルのヘッダー、フッター)



4-6. 化学と宮沢賢治 (宮沢賢治等身大パネル)



4-7. ミニブック (右:表紙、左:裏表紙)

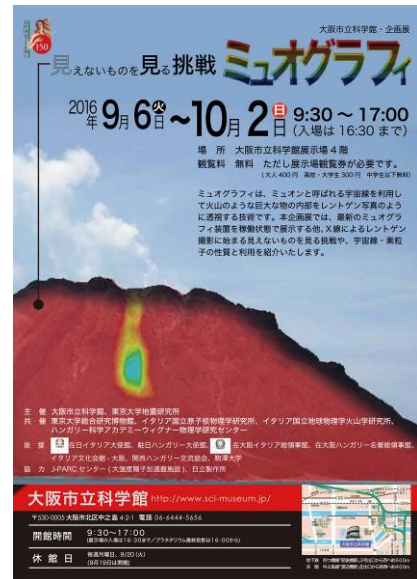


4-8. ミニブック (右:奥付、左:目次)

5. 見えないものを見る挑戦 ミュオグラフィ

担当学芸員:大倉学芸員

物体の内部をミュオグラフィという装置で見る事ができる。その装置の展示を中心にした企画展である。



5-1. ミュオグラフィ(A4表)



5-2. ミュオグラフィ(A4裏)

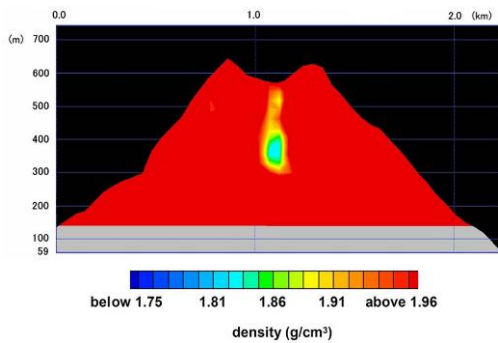
上図5-1. と-2. の中段部にミュオグラフィ

装置が掲載されている。この装置で見る事ができる画像をメインにして一般の人にインパクトを与えるデザインを考えた。

先ず下図5-4. の山のフォルムを5-5-の
ような赤い色にする。次にそれを5-5と合わせてひとつの画像にする。最後に5-4の上の重ねて透明処理をほどこすとチラシ、ポスターのようなデザインになる。



5-3. 火山写真



5-4. ミュオグラフィで見た別火山の内部



5-5. HP用

6. サイエンスガイドの日

12月5日のボランティアデーにちなんで実施している「サイエンスガイドの日」である。

これはサイエンスガイドさんが主役なので、チラシなどにも全面的にガイドさんの写真を使わせていただいた。



6-1. サイエンスガイドの日 (A4表)



6-2. サイエンスガイドの日 (A4裏)

7. We are 科学デモンストレーターズ2017

毎年恒例の科学デモンストレーターズによるサイエンスショーのイベント。今年のテーマは“七福神”。演示台を船にみたてた。ちなみにデモンストレーターは少し人数オーバーだが、七福神である。背面は歌舞伎などの舞台に使われる定式幕の図柄である。



7-1. We are 科学デモンストレーターズ 2017 (A4表)

科学デモンストラーズ

科学デモンストラーズ

プログラム

※内容の予告は予告として予告として予告として

開始時刻	終了時刻	タイトル	内容
10:25	10:30	オープニング	
① 10:30	10:50	炎のアツい科学	炎を発生させる物質が少なくて済むように、炎はどのような物質でできているのか、アツい炎の科学をアツい実験を通して学ぶ。
② 11:05	11:25	電池のヒミツ	電池の仕組みがどうなっているのか、よく観察すると電池の仕組みがわかる。また、電池の仕組みがわかる。
③ 11:40	12:00	見える見えないのふしぎ	透明な物質や液体がどうなるのか、よく観察すると透明な物質や液体の仕組みがわかる。
④ 12:15	12:35	びっくり! ワクワク ★光サイエンス	光の性質がどうなるのか、よく観察すると光の性質がわかる。
⑤ 12:50	13:10	水の科学	水の性質がどうなるのか、よく観察すると水の性質がわかる。
⑥ 13:25	13:45	光のヒ・ミ・ツ	光の性質がどうなるのか、よく観察すると光の性質がわかる。
⑦ 14:00	14:20	世界一かんたんブーメラン	世界一かんたんブーメランの仕組みがわかる。
⑧ 14:35	14:55	スーパー磁石	スーパー磁石の仕組みがわかる。
⑨ 15:10	15:30	光の虹を見てみよう	光の虹の仕組みがわかる。
⑩ 15:45	16:05	びっくり! ワクワク ★光サイエンス	光の性質がどうなるのか、よく観察すると光の性質がわかる。
⑪ 16:20	16:40	花火の大家談	花火の仕組みがわかる。
16:40	16:45	エンディング	

10:30open 11:00close 11:30open 12:00close

本場から直接お借りした実験器具を使い、アツい炎の科学をアツい実験を通して学ぶ。アツい炎の科学をアツい実験を通して学ぶ。アツい炎の科学をアツい実験を通して学ぶ。

科学デモンストラーズとは

かんたんブーメラン
100%
かんたんブーメラン
100%
かんたんブーメラン
100%

虹のミステリー
100%
虹のミステリー
100%
虹のミステリー
100%

科学デモンストラーズとは

7-2. We are 科学デモンストレーターズ 2017(A4裏)

8. 化学実験大会2017

このイベントのチラシは外部から実験を披露するために集まるものである。サイエンスショー・コーナーを舞台にして参加者の実験写真を紹介するシンプルなものなのだが、画像の加工パターンがポイントである。



8-1. 化学実験大会(A4表)

4. その他

1. ジュニア科学クラブ

小学5年生と6年生の2学年を対象にしたクラブであ

る。参加者には缶バッジを渡すのだが、毎年アメリカ、Panton 社発表するイヤー・カラーをベースに製作する。

バッジの表面(57MM)
バッジの側面(縁部分) (66.67MM)



1-1. ジュニア科学クラブ缶バッジ

2016年のイヤーカラーは2色。淡いブルーの“セレニティー (Serenity)”とペールピンクの“ローズ クォーツ (Rose Quartz)”である。“セレニティー (Serenity)”を CMYK で表す場合は C42, M24, Y3, K0、“ローズ クォーツ (Rose Quartz)”は C0, M24, Y15, K0 である。上図1-1でいうと中心部がローズクォーツ、周囲がセレニティーである。

5. 総括

毎年実施されるイベント、今年初めてのイベントなどいろいろ実施されるが、イベントのターゲット層にどれだけ興味を持ってもらうかがポイントである。また担当学芸員との意思の疎通を図り、イメージどおりのデザインを仕上げるように心がけている。

チラシ、ポスター等の製作に際して欠かせないことは利用者の目線に立つことである。利用者がどんな情報を望んでいるか？どうしたらその情報を的確に伝えられるかが重要である。製作者の自己理由で、利用者を惑わすようなものを作ってはいけないと考える。これからもこれらを肝に銘じて製作に携わりたいと思う。